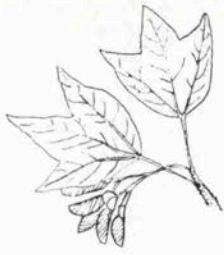




① プラタナス



② トウカエデ



③ クヌギ



④ マユミ



⑤ ユリノキ

★今、六甲山では木々の葉が美しく色づき、背山を壮大なモザイク画に仕上げています。また、枝には実が熟し、鳥達の訪れをまっています。……秋は、みどりがその最後の乱舞をみせてくれる季節です。

★街のみどりはどうでしょう。神戸7区の街路樹のうち、上位5種はイチョウ、プラタナス、シダレヤナギ、トウカエデ、ユリノキの順で、これらの合計は約1万2千本で、全体<1万7千本>の72%を占めています。

★これは残念なことです。なぜなら、もっといろんな種類の木がいろんな場所に植えられてよいからです。葉の赤く変色するもの（モミジ、マユミ）秋にも花の咲くもの（モクセイ）楽しい実のなるもの（クヌギ、カキ）、これらの木々が街なみにあふれれば、街のみどりはもっと魅力的なものになるに違いありません。もちろん一本の街路にただ一種の木を植える必要もないのです。各種の木が植えられてあれば、見た目の齊一感は損なわれるかも知れません。しかし、われわれにとっては、いろいろな種類の木が植えられているほうがずっと楽しいし、他の面——微気象・地質——を考慮して植えれば、そのほうが木々の生育にはずっと良い場合もあるのです。

★いろいろな木々と、その季節ごとの移り変わり。自然のこの豊かさ、素晴らしさを街のみどりに生かさないではあります。

神戸のアーバンデザイン

神戸のみどり

神戸市内の街路樹

⑧

水谷頼介・チーム・UR

⑨



●土地を商売の対象、投機の対象として扱うことを止めることが、土地価格高騰対策の基本的路線だと考えます。そのためには、土地自体を売買する行為を回避出来る方法を採用しなければなりません。

●公共用地、公共的利用のための用地そして土地を買収する場合でも、その効果をうけて周辺地価が騰貴しますし、また、その購入資金に金利がかかって、地価に負担がかかります。

●地価が上るということは、土地代に必要なお金が高くかかる、土地の利用そのもの、すなわち上物に十分なお金がかけられないということになります。そうするとその上物の寿命は短くなる、そこで、それをつぶす、すると、その上物にだけかけたお金を土地価格に換算しての地価に上のせして再び地価が上る、というメカニズムになります。

●投資のフローの吸収装置としての土地——地価、ということで、土地の上での町自身はまったくその便宜的・犠牲的存在となってしまっています。

●土地の利用と土地の所有を直結することによって、土地売買に頼る安易な利益をカットすることを、住宅政策として進めるいき方を最近いくつか試みられています。

●一つは、緑農住区、農住都市という方式で

す。農地を所有している人たち自身が街として、農業生産基地としての街づくり計画をつくり、その利用計画を前提として、そのなかに自分たちで住宅建設も行い、それを賃貸住宅として都市生活者に利用してもらうといういき方です。

●住宅建設資金として住宅金融公庫などの公的施策がとられ、また、経営上高額になりがちな家賃対象として、利子補給を行なうなどのが行われています。

●農地を土地のまつ不動産業者に売ってきて、その上に乱雑な街が勝手につくられてしまったことへの反省からの行動です。

●もう一つは、市街地のなかでの住宅地再開発——たとえば、工住混合地区での住宅建設に対する方法です。

●それぞれの敷地を所有したままで、自分達の住居自身とそれぞれ私有の賃貸住宅を建設します。そして、その賃貸住宅の建設資金や公的経営のための家賃差額補助（経営採算上公営住宅より高くなる分だけの）を行なっています。

●公営住宅を、公営で土地取得して公営資金で建設し所有するという方法でなく、民間土地・民間所有の住宅を公的利用していく、といういき方です。

（水谷顕介）

神戸の古き良きまちなみ（五）

★よき景観を破壊するものに憤り

—成功だった神戸の景観に関する百人アンケート—

●アンケートで世論喚起

「神戸のよい景観がどんどんなくなっていく」「いまのうちになんとかしなければ」「ともかくいろんな人に訴えて世論をおこしていこう」——私たちが△神戸の景観に関する百人アンケート▽をはじめたきっかけはざつとこんなものであつた。データを集めて分析するといったむつかしいことより、ともかく百人の識者に私たちの意図を訴えようという気持の方が強かつた。だからアンケート項目も、①一番好きな景観は？ ②一番嫌いなところは？ ③残しておきたいところは？ ④いまはもうないが残しておきたかったところは？ ⑤神戸の都市のイメージは？ ⑥景観をよくするには？ ⑦北野町を守るアイデアは？といったきわめて簡単なものであつた。

●熱心な回答に感激

郵送アンケートもあり、最初はどの程度の返事があるか検討がつかなかつた。しかし、最終的には五十三名の人たちから返事をいただいた。それも例外なく、きわめて熱心な回答ばかりである。それらを読んでいくと、よい景観を急速に破壊していくものに対する憤りが、私たちの胸に伝わってくる。景観破壊に対する日頃のうつぶんを表現する場をこのアンケートが提供したのではないかと私たちはうねぼれたりもした。病氣で安静の床から、回答はできないが、いい企画だからがんばってほしいという激励もあって、私たちを大いに感激させたのである。

●北野町に保全策を

アンケートの結果からひとつ興味あることを述べてお

こう。好きなところは？ 残しておきたいところは？ および残しておきたかったところは？ という三つの質問に對し、いずれも一位を占めたのは、北野町界隈である。

北野町はこの十年の間に、まず、いかがわしいホテルに浸食され、つづいてマンション攻勢にさらされた。「北野町はもうない」といつてもいいほどの変りようである。こう感じた人々は、北野町を「残しておきたかったところ」に分類されたのである。しかし、一方、まだ約三十軒の異人館が現に存在しているし、それらがホテルやマンションに押しつぶされながらも、なおけなげに北野町の魅力を語りかけているのも事実である。「好きなところ」「残しておきたいところ」に分類した人々は、これらに最後の望みをかけられたのだろう。私たち

は、「好きなところ」「残したいところ」「残しておきたかったところ」のすべてに北野町が多かつたことから、北野町の人気の根強さとともに、いま急速に変ぼうとげつつある北野町の卒直な投影をよみとることができた。北野町の保全策を早急に検討すべきときである。

●印刷、自費出版へ

ともかく、このアンケートは私たちの期待を上回って、ずいぶん興味深いものとなつた。ぜひ印刷してより多くの人たちにという声が自然におこってきた。私たちには、いろいろな無理を承知で自費出版に踏み切つたのである。こうしてできあがつたのが『都市と景観——よき景観を守り育てよう——』である。ぜひ多くの方々に読んでいただきたいと思う。そして、この本が、神戸のよき景観を守り育てる一石になればと念じている。

（新建築家技術者集団兵庫支部 垂水 英司）

アンケート結果書は実費でお分けいたします。二二一六七〇五へ申込んで下さい。

北野天神下の小路を、五十米くらい東へ歩くと、右手に雜草の繁った広い空地が展ける。このあたりは、かつて旧ハッサム邸や、アメリカ総領事官邸などが建ちならんで、神戸の異人館としてふさわしい環境をつくつていったところです。

旧ハッサム邸は、除去される予定のところを、関係者の尽力によつて、所有者より昭和三十六年に、神戸市へ無償譲渡され、同年、重要文化財に指定告示され、神戸市の手によつて、現在相楽園内に移築されています。建築年代は、明治三十五年で、建築主のハッサム氏は、インド系英国人で、当時、綿花や、米穀雜貨の輸出入に

よつて、かなりな成功をおさめていたと伝えられています。相楽園内のこの建物は、今年九月に、外壁の補修とペンキ塗りが行なわれ、美しく、化粧直しされました。旧ハッサム邸の後地を右にみて、更に五十米程東へ歩くと、左手に、緑色の板塀に囲まれた、旧エフ・エーエーコーフード邸が見えてきます。この建物は大変よく手入がされており、東側の三本松へ下る道は、北野町の坂道のある風景として、この異人館を背景に、写真などによく撮られています。

（新建築家技術者団体兵庫支部 佐古 誠司）



図版説明 ①加リン・バーバク・モラー邸（旧エフ・エーエーコーフード邸）
②旧ハッサム邸後地 ③異人館



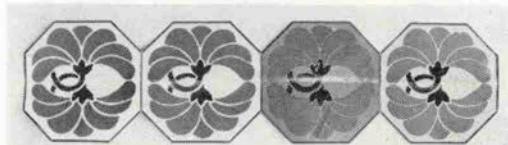
旧エフ・エーエーコーフード邸（左手前）



ハッサム邸後地

Air Mail from New York<3>

二つのお祭り



▲アジアの月祭りのプログラム
◀リゴア・ダンカン画廊の
鎌田糸平さんの個展の案内状



竹田 洋太郎

＜元神戸新聞論説委員＞
在ニューヨーク

セントラルパークといえばニューヨークに住む人、働く人にとっても自慢の場所ですが、そこで九月二十二日の夕べ「アジアの月祭り」が開かれました。主催はニューヨーク文化局と、ベニハナでもうけたロッキー青木氏。不幸にも薄曇りでお月さまは出ず、天候が心配されましたが、もの見だかいは神戸つ子のくせ。お祭りと書いてはじつとしておれないでの、夕方から家族そろって出かけました。池のほとり、小さな広場と三ヵ所ばかりでさまざまなショーガーがあるので、やはり食欲をさぞう香りにひかれていたのがウルマンモール。ベニハナが例によってハデなジェスチャーで鉄板焼きを焼き、中国、韓国、タイ、フィリピンなど焼きそばやブルコキの煙がただようまん中で、日系の青年が弾き語りのフォークソングをやつっていました。

日系人や中国系人に向かって、白人たちは「お前たちの国は世界一なんだろ。トットと帰つたらどうなだ」という。だがおれたちはアメリカ人なのだ。日系人の庭師も中国系のクリーニング屋も、みなアメリカ人なのだ——といった東洋人のプロテストの歌でした。

そしてようやく公園は暗やみに沈み、パークサウスのビルの窓の灯が金屏風のように輝く頃、一段と高く「六段」の調べが鳴り響きました。演奏は鎌田さんといふ若い日本女性。多勢の外国人が静まりかえった中で聞く六段は、なんだか不思議な思いをさせてくれました。

森の中の道をたどって帰途につくと、木のかげからまぎれもない日本の祭りばやしが聞こえてき、白い提灯がきつねの嫁入りのように闇の中を川をつくつて流れています。ところが、そばによると、日本の祭りばやしに合わせて踊っているのは、神戸つ子なら神戸祭でご存知の、中国のお獅子です。お嫁入りの花嫁さんは、金らん縫子ではなく純白のパリンタワックに装つたフィリピンの花嫁さん。後の方で響く太鼓は極彩色のインドの火炎太鼓でした。

キリンビールのほろ酔いで家に帰つて思い出したのは





セントラルパークの動物園でドラムかんをたたいて演奏している人。通る人は25セントを路上の空カンに入れて、音楽に聞きほれています。

「アジアの月祭り」というので、日本人が主催者の一人なのに、集ってきたお客様の中に日本人はほとんど見かけず、わずかにお年寄りの日系人らしい人がちらほら。他のアジア人は、それぞれ故国の服装で誇らしげに来ていたのでした。日本人、ことにニューヨークで働く人は、自分を日本人だとは思っても「アジア人」とは思っていないのではないか。これが妙に心にひっかかりました。

もう一つのお祭り。これはいま私の住むニュージャージー州ウエスト・ニューヨークの市制七十五周年のお祭りです。人口約四万の小さい市といえは、有力者はみな顔見知り同志らしく、市当局とシユレジンジャーという男性洋服洋品店の主催で、うちの子供がいま通っている小学校の講堂で「大男性ファッショニショーン」が開かれるとという次第。

男性のタウンウェア、防寒コート、レジャーウェアからタキシードまで、モデルは市会議員（定数四人）全員と助役さんにカトリックの神父さん、新教の牧師さん。

圧倒的なカトリック地域なので最高の人気は神父さんですが、彼がイキナ白のタキシードで舞台の張り出しに現われて大きな拍手が起きたとたん、おごそかに十字を切ったのには満場の拍手でした。

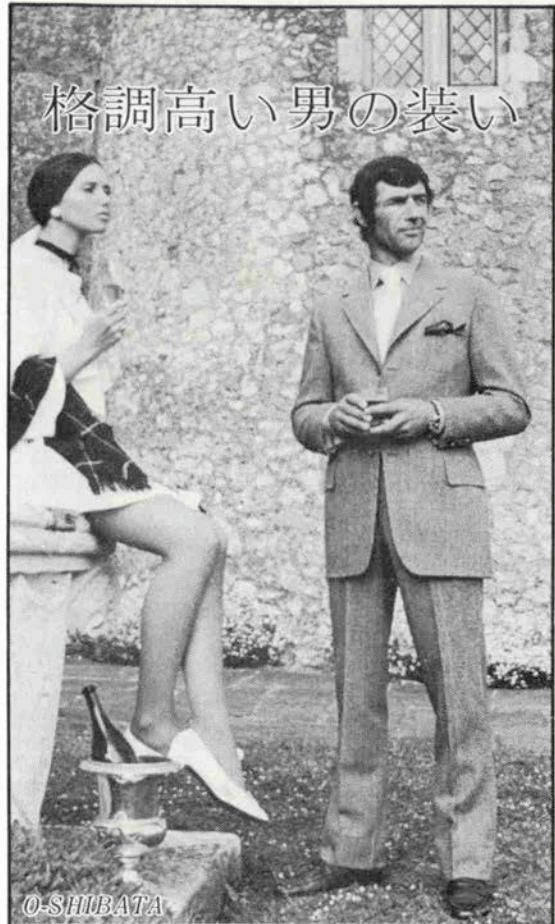
月祭りの翌日は、バーゲンラインという中心商店街の大パレードでした。午後二時からというのに正午ごろから通過路にイスを持ち出し、コーラを飲みながら待つ人でいっぱい。その行列の長さは、人口がわずかな市なのに神戸まつりにも匹敵するくらい。というのは近郷近在同じハドソン郡の他の市長村から「特別参加」のプラスバンド、消防車、愛犬協会などの参加があるからでした。高校のバンドはいすに及ばず、各種在郷軍人会のバンドは平均年齢六十歳と見えましたが「聖者の行進」など見事な演奏を聞かせてくれますし、ジュニア・ミス・ニュージャージーや小学生のバトントワラーは汗いっぱいかきながらの熱演です。

市土木局のダンプカーは運転手とその家族が乗つて愛嬌をふりまき、道路清掃の真空掃除車はおやじさんと中学生の息子が神妙な顔で行列に参加しているのが、逆に一番ユーモラスでした。

もつとも誇らしげなのが、さきにいったさまざまの在郷軍人会。といっても、先頭はいつもデップリ肥つて第二次大戦の軍服を着、勲章をいっぱいつけたおじさんとおばさんです。それにフリーメーソン系のクラブが続きます。

ただ、質上げ交渉が難航してついにパレード参加拒否を決めたのが市警のおまわりさんだと新聞に出ていましたが、署長以下夏服からアイロンのあたつた合服に着かえたところで、優雅なボーズで交通整理をやっていたところをみると、やはりお祭りを楽しんでいたにちがいありません。

これがなるほど、日本に輸入されたがいまだになじまない言葉の「コミュニティ」なのだと思い当ったわけですが



O-SHIBATA

金 柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 神戸 341-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106

晴れの日の
ウェディングケーキ



ウェディングケーキ ¥ 8,000 より



北欧の銘菓
ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・喫内店 神戸市震谷区鷺内町1の35(市立美術館東隣)TEL. 221-1164
■三宮センター街本店 神戸市三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン)TEL. 331-2421
■さんちか店 神戸市三宮地下スイーツタウンTEL. 391-3558

☆すみれの花咲くころ

花の宝塚六十年昔語り

古林 喜楽（広島商科大学学長・元神戸大学学長）

内海 重典（宝塚歌劇団演出家）

初音 札子（女優）

松岡 寛一（画家）

★きょうは小林一三さん名づけの楽天地で

内海 今年は小林一三さんが御生誕なさつて百歳という年です。来年の四月が宝塚歌劇創設六十周年。小林先生の百歳記念はこの一月にやつたんです。来年は一年中、六十周年記念の催しをやります。

古林 僕は五十周年のお祝いには行つたが、はや十年たつましたか。

内海 六十年のうち、わたしは三十四、五年いることになるからねえ。半分以上になる。

古林 だつたらあなたが宝塚に入った時、草笛美子さんはまだいたのかしら。

内海 クッチヤンのやめる一年くらい前だったかな。もうブリ・マドンナでね。その頃初音札子さんは雪組の組長さんだつたんですよ。なかなかウルサイ、おもしろい組長さんでね。

初音 先生はね、お稽古場でいろんなことを教えてくれはるんですよ。芝居以外にね。（笑）

内海 なにを。ウソと言え。（笑）

★三里の道を腰弁当でテクテク

内海 僕はね、六十年前のことを考えるとね、あの当時小林さんがあんな田舎に、街はずれの温泉の余技として宝塚を作られたということが考えられないですね。

それと「宝塚」という名をおつけになつたということ、これはあの辺りに古墳があるということからあの名をつけられたということですが、それがそのまま現在の市名になつてしまつたわけですね。

宝塚歌劇がなければ、だから宝塚という名もなかつたわけですね。宝塚という名を残されたということ、それとあんな田舎に作られたということ、今考えると不思議でしようがないですよ。よく決心なさつたと思って。

古林 阪急電車は昔は大阪から宝塚までだけで、阪神間は阪神電車と国鉄しかなかつた。

だから僕らはね、西宮からテクテク三里の道を日の丸弁当を下げて通つたのです、若き頃は。

初音 おいくつくらいの頃ですか。

古林 大正五、六年の頃かな。天津乙女さんが入つて間



内海重典さん

が平場でしたね。小学生の時よ。天津乙女さんが十四、五歳の頃でしょうか。

天津乙女さんが坐つて見た。椅子席はなかつた。

古林 僕は元来、歌が好きなんですがね。

天津さんがその頃歌つた歌で、いまだに耳に残つて覚えてる曲があるんですよ。

内海 それね、さき頃天津さんといつしょになつた時、あんなの若い頃の歌で「落つればおなじ谷川の水」という歌覚えてますかと聞いたたら「そんなもん、歌いましたかなあ」ともう忘れてしまつてた。(笑)

古林 僕は最初、歌が好きなんですがね。

天津さんがその頃歌つた歌で、いまだに耳に残つて覚えてる曲があるんですよ。

内海 結局日本の流行歌いうと、宝塚の歌が発祥じゃなかつて、いう意見もあるんですけどね、いわゆる流行歌いうのは……。「モン・パリ」なんか昭和三年でけど、これはもう日本中に広まつた歌やから、今だに歌われていますからね。

古林 そうなつたのはレビューものが入りだしてからでないですか。最初はレビューがなかつた。

内海 そうですね。最初の頃は、一日に五本くらいやつてた。初音さんあたりも五本立ての頃に入つてらつしやるはずです。

★二十銭払うと温泉と歌劇

古林 僕が最初行つた頃は、入場料が二十銭やつた。二十銭払つて入つるとね、温泉に入つて、まだ少女歌劇はタダで見られた。

内海 できる前は国鉄の西宮駅から。ちょうど三里です。

古林 だからね、神戸線よりも前に、阪急電車は宝塚線ができてましたからね。そのアトラクションとして少女歌劇が作られたのでしょうか。

内海 そうなんですよ。田舎の温泉客誘致のために歌劇を作ろうということだったらしい。

古林 そうそう。だからすごい早変わりをしてね。

初音 昔は娘役いうと、もう真っ白に塗つてね。私が「シンデレラ」で初めて女役をやつた時も真っ白。草笛さんがシンデレラ姫をおやりになつた時でした。私はイジワルの妹役。

古林 そうしたら小夜福子さんもいっしょでしたね。

初音 そう、でもあの人はずっと上級生。

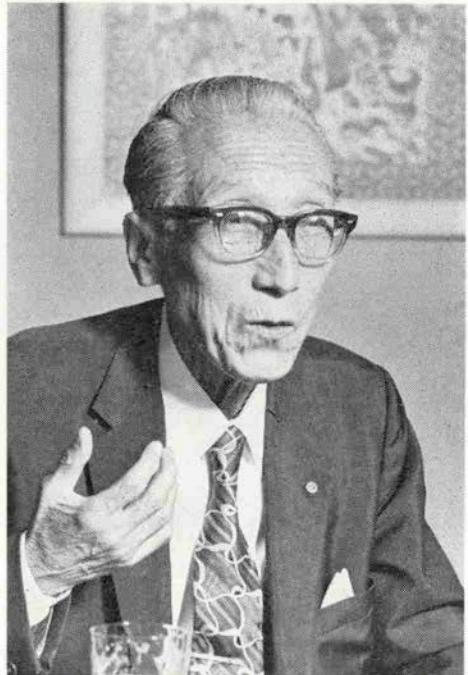
古林 すると、初音さんはもう百人一首の名が終わってからになるわけですな。

初音 そうです。私は小学校の時、初めて見に行つてこんな所があるのかとびっくりして、入りたいなと思つたんやけど、家で許してくれなかつたものやから女学校へ入つたんです。でもやっぱり途中でやめて宝塚へ行つたんですけど、初瀬羽子さんが好きやつたものやからあの人の名前をいただいたんです。

内海 最初の頃はみんな百人一首から名前を取つてたんですね。今はもうこのことを存じない人もいるけれど。

初音 百人一首そのままですね。

わたしらの時は、もう百人一首からは取れなくて、あつちこつちから引つぱり出して名前をつけています。万



古林 喜楽喜喜さん

葉集からも取つていいということになつて。

★ロマンスもいっぱい、男性のオアシス

内海 僕はレビューの華かなりし頃、閑学にいたんですよ。二年の時学校が上筒井から上ヶ原へ変わつたんですが、宝塚のそばになつたもので、運動部の連中なんかは練習が済んで五時か六時頃、ちょうど宝塚の生徒の帰る時間をねらつて帰ろうか、つてんで「花電車」という言葉があつたんですよ。「きょうは花電車で帰ろうか」というと、六時頃帰ろうということだったんです。(笑)

学校は、中学部の時は見に行くと停学になるんですよ。それで休みの間にこつそり見に行つたりしてたんだけど、そのうち先生の中にひとり、すごいファンの人がいたんですよ。その先生は兄弟で大ファンで、「ヨシ、俺が連れていくってやろう」。(笑) 監視するのはまた別の先生なんです。(笑)

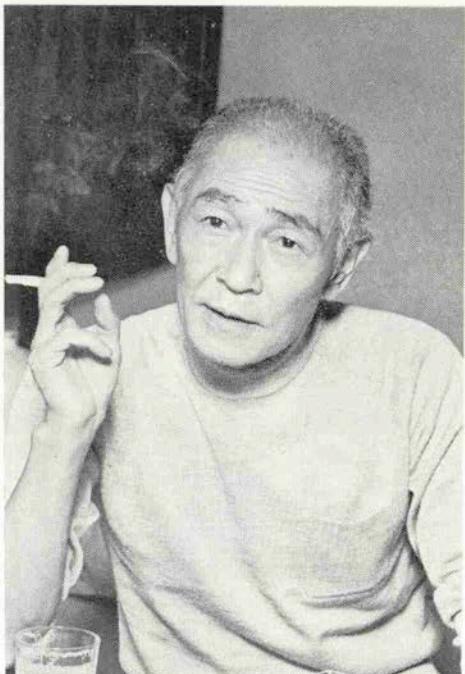
古林 閑学というと、さき頃亡くなられた有名な大先生の初恋の彼女が宝塚の人でね。それがうまくまとまらなくて、先生は最後まで独身で通した。相手の宝塚の彼女の方も、今だに独身なんですよ。

初音 そんなこと、全然知らなかつたわ。

内海 その頃は、閑学と宝塚の間ではいっぱいですよ、結ばれた人。

古林 神戸大学が昔神戸高商の頃はね、上筒井にあつて閑学と隣りどうしだつた。ところがどうも閑学の学生の方がスマートでモテましたね。その後距離的にも閑学の方が近くになりましたから、いろいろ話があつたのでしよう。

内海 閑学の先生と結婚した人もたくさんありましたね。私も閑学じゃなかつたら、宝塚に入つていたかどうかわからないですよ。



松岡寛一さん

ば、腰弁当で三里の道なんか歩けませんよ。
初音 だからね、わたしらの時代、観客席
ファンですよ。昔みんな行ってらした。今
も関連連に宝塚を激励する会がありますが
ね。

今は若い女の子ばかりやけど。

内海 今のが関西の社長さんほとんど宝塚
ファンですよ。昔みんな行ってらした。今
も関連連に宝塚を激励する会がありますが
ね。

古林 草笛美子さんの話を聞くと、今の大

臣連中の中にもだいぶんファンがいたそう
ですな。

初音 そういう古林先生ご自身も、ようお
通いになつたそうですね。

古林 そう、僕もそのひとりかな。(笑)

★ヤボ?な男がスターの顔を描いて……

中学生時代の頃は娯楽の場所がほとんどなかつた。白黒の
無声の活動写真ぐらいで、それも三宮と新聞地にあるだけ
です。それくらいあとは何んにもない。男女七歳にして
出席を同じくせず、女学生に手紙出しただけで停学三カ

月というようなことでしたからね。
内海 松岡先生は絵かきさんだつたんですよ。それで一
年ちょっと宝塚にてはつたわけですか。なつかしい
な。

松岡 戦争に行つてしまいましたんでね。

内海 どないしてはるんやろ、と時々あなたの名前出て
きますよ。

松岡 内海さんが入りはつたところでしたね。

内海 わたしが十四年に入つたでしょ。松岡さんは十四
年の中頃すぎやつたかしら。

松岡 ほんの二、三ヵ月の違いやつたから。

内海 その頃出版部が「歌劇雑誌」いう本を出してまし
て、その表紙がずっと写真だったわけですよ。ところが

それじゃおもしろくない、ということになつて、その表
紙を油絵で描いていただくということで、確かに入つて来

られたんですね。

古林 正月に親類の女学生が来ても、外では二、三間離
れて歩いた。処分問題だったから。
そんな時代だったから、若い女性を目の前で見られる、
というようなことは宝塚以外になかつたわけですよ。
内海 その宝塚もまた非常に厳しかったわけですがね。
古林 当時のハイティーンの男性にとつてはね、宝塚は
オアシスのようなものだつたわけですね。そうでなければ

松岡 最初小磯良平先生に頼みに行かれたそうですよ。

わたしは小磯先生の紹介で入ったわけです。

内海 そうそう、それで表紙のスターの絵ばかり描いていましたが、いい絵でしたよ。「歌劇雑誌」の雰囲気がパッと変わったもの。

一年ちょっと宝塚で絵を描いてらしたんですね。まじめない青年でしたよ。

松岡 僕は仕事以外にはわりに縁がなくて、スターの方以外はまるでわからない方でしたね。勤めていて表紙とかカットの絵が済んだらあとは仕事がないのですから

ちょこちょこ劇場に入つて見ていましたがね、お金払つて通つたこというのはないんですよ。

僕は、ヤボの方でした。(笑)

お昼の食事時でも、ちょっと早めに食堂へ行つて食べてると練習の終わった女子たちがワーアーと降りてきたりね、あわてて食器持つて移動したものです。

内海 その頃宝塚はコーヒーが五銭でね、まだそれにモナカがついてましたんや。

★男役は室内でもシルクハットをつけたまま



初音礼子さん

内海 レビューをやるようになつてから、宝塚はすっかり変わりましたね。

昔は、浅草オペラみたいなものを女性ばかりでやつたら、ちょっと違つたものにならないかというんで小林さんが始めはつたんやけど、童話劇から始まつてだんだん大人のものになり、それが「モン・パリ」なんかのレビューでまたスタイルがすっかり変わつてしまつたんですね。

その頃は男役をやる人も髪を切つたらいけなかつたんです。だからいつもシルクハットをかぶついて、部屋の中の芝居もシルクハットをかぶつたままやつていたんですよ。髪が長いままだから、帽子を脱ぐわけにいかなくて。

初音 いちばん最初に髪の毛を切つたのは小夜福子さん、それから神代錦さん、わたし三番目ですわ。

髪の毛を切つたらおとうさんによライ怒られてね、先生が切つた方がエエ、言わるんや言うても先生はそんなこと言わんはずや。(笑) 言うて。

内海 それから後は部屋の中の芝居に帽子を脱げるようになつたんですわ。

古林 昔は少女歌劇という名の通りの可愛いらしさが印象的でしたね。ところが先頃久しぶりに「不死鳥の翼燃ゆとも」を見て

古林 僕らのハイティーンの頃には学生は皆よく通つたものです。私はその後ちょっとごぶさたしていましたが、十年くらい前ですか、どうしたわけか、春日野八千代さんと対談するというプログラムをNHKが組んだんですよ。春日野さんが「不死鳥の翼燃ゆとも」に出演なさった時なんです。見ないことには話にならないので、その時久しぶりに宝塚を見に行きました。

初音 先生のハイティーンの頃とは、すいぶん変わつてましたでしよう。

印象的であったのはね、昔と比べて舞台衣裳と女性の身体がころつと変わった美事になったことです。しかしとにかく、昔日本國中の若き男性を魅了し、今でも現役大臣が神戸へ出張してきた時にはこつそり昔のブリ・マドンナの顔を見に来るというような、外国では例のない伝統、今でも夜も日もあけやらぬ盲目的な女性ファンの多いこと……日本人にもオペラというものがだいぶんわかつてきたのに、いまだに連日超満員で、日本

の名所になつてゐるということはたいしたものですよ。ただ歌劇という言葉で、オペラかと思うと誤解を招くでしょうがね。たとえばテノールなんかは女性では無理でしようからね。

しかし先日米日した朝鮮のマンスデ芸術団がオペラの新しいジャンルを見せてくれたのにヒントを得る、といふことも考えられるのではないかでしょうか。

日本の歌舞伎では女役を男役が演じる、宝塚では男役を女優が演じる。こんなのは歐米ではない日本独特のものですからね。マンスデは、歐米ではオペラにならなかつたものをオペラにした。宝塚は宝塚で日本独特のものを創造していく。オペラにもいろいろさまざまなものがあるというのもおもしろい。宝塚にはおおいに頑張つてもらいたいですね。

内海 宝塚のいき方は純粹オペラとはちょっと違うんですね。女だけでやるということと、オペラのマネやいうのではなく、むしろ昭和十二、三年以後はオペレッタに近いんでしょうね。

★宝塚調を現代にも生かして

内海 戦後私はアメリカへ行つて、プロードウェイでミュージカルを見てきたんです。「南太平洋」なんかを見たんですが、生のミュージカルを見たのは日本では私がいちばん初めてだつたということです。

アメリカのミュージカル・プレイいうものがいかにすばらしいものかということを聞いていたんです。ところがブロードウェイの劇場に入つて、実際には私は少しもびっくりしなかつた。そこで見たのは、すでに昭和三、四年頃から宝塚がやつていた形式だつたんで



宝塚時代の初音礼子さん(左)と室町美子さん

すよ。アメリカへ行つても全然びっくりしなかつた。

「南太平洋」以前の「オクラホマ」とか「回転木馬」

これは戦争中のものですが、こういうのはまだ半分

オペラといえますね。オペラに近いオペレッタ。

それが「南太平洋」あたりからは芝居本位のミュージカルになつてきましたわね。

アメリカのを見て帰つてからは、アメリカにも決して

負けないと安心してやれるようになりましたね。宝塚は

決して遅れていなかつた。

この間あるアメリカ人が来ましてね、宝塚大劇場の大

きさというものを非常にほめたんです。大劇場がこれ以

上大きくなれば親近感いうものがなくなる、小さすぎる

とこんどはアラが見える、だから大きくもなく、小さく

もなく最高の寸法だというわけです。

これはその時初めて聞いた意見ですが、宝塚の今のよ

うな魅力も、大きさが一役買つていたんやないかと思つたわけです。

初音 はあ、そうかもしれないですね。

内海 宝塚みたいな形式のものが世界にないだけに、大

切にしないといけないと思っていますね。

初音 私たちの頃はね、大劇場をやると次に中劇場、そ

の次にはまた小劇場に出てといふうで、だから今の人たちより、私たちの頃の方が忙しかつたように思いますね。

内海 宝塚でも最近の若い作者は、現在の若い人たち

好みからシヨーでもロックを多くしたり、シユールな舞

台を作つたりして、感覚的に今までの宝塚調を打破しようとしてやつてくれている。

僕もそれはそれなりに必要なことだと思うけれど、年

中そればかりになつてしまふと宝塚の存在価値がなくなつてしまふと思う。

世間一般にあるのと同じものになつてしまつて、あき

られてしまふと思つていますね。

現在まで育てられてきた宝塚独自のものを、現在の人

が見ても古さを感じないものにしていきたい、こう思ひます。

それをあえて現代調に変えてしまい、くすしてしま

たくないというのが我々の意見ですね。

（於・竹葉亭）

☆新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

〈11月号予告〉

☆グラビア「女の四季」野川 由美子

「万葉記」⑧ 犬養 孝

「And His Ladies」

阿部牧郎

「関西の人間国宝」

片岡仁左衛門、黒田辰秋、
深見重助他

「私の散歩道」村山リュウ

吉田留三郎、藤井正三

☆特集 企業情報（食品産業）

美術隨想

☆タウン企画 元町1番街

周防町界隈

☆連載対談 ⑩ 山田無文、富士正晴

☆商売の最前線 「進々堂製パン㈱」

☆激動のアラブを行く⑫

クウェート 林 辰彦

☆大阪芸術大学の可能性をさぐる(IV)

——〈建築〉

☆「織田作之助伝」 ㉑ 大谷晃一

☆「競馬酔狂連」 ⑨ 新橋遊吉

☆「大阪物語」 ⑧ 石濱恒夫

☆「夕ぐれに苺を植ゑて」②足立巻一

☆タヒチレポート 編集部

月刊 オール関西編集部

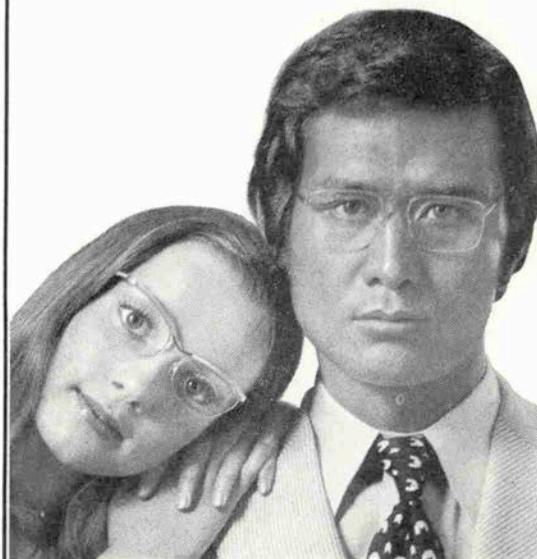
大阪市北区梅ヶ枝80 梅新東ビル7F

TEL06-364-2434~7 (代)

MAKE UP WITH ROYAL

秋から冬へ

ディオール、カルダン、サンローラン
のセルロイド枠
にて
舶来、国産のオール・メタル・フレーム
よりよく装って下さい



神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874~5

元町店は毎水曜日がお休みになりました
三宮店は第3水曜日が休みです



伝統と風格

ロマノフ王朝のかおりを今にとどめ
心こめてつくりあげた手づくりの味
そのひとつぶ、ひとつぶの個性豊かな味と香りは
あなたに優雅なひとときをお約束します。

CHOCOLATE & CANDY

ゴンチャロフ
Goncharoff



タカラヅカ出身

スター アンケート

(回答到着順)



月丘 夢路



新珠三千代

- (1) あなたにとって、今、宝塚時代はどんな時であったと思われますか？
- (2) 宝塚時代に印象に残るブログラム・主題歌・相手役をお聞かせ下さい。
- (3) 宝塚時代の印象に残るエピソードをお聞かせ下さい。
- (4) これらはどちらの宝塚はどうあつてほしいと思われますか？



淀 かほる

- (1) 上級生に、にらまれたりいじめられたりした時、同期生の越路吹雪さんが『うちら團結すれば恐いことなんかないわ、團結やで！』と音頭を取り可愛い炎を上げました。
- (2) 適当に厳しく、適当に甘く、適当にプロ意識を持つて、観客を楽しませて下さい。
- (3) 上級生に、にらまれたりいじめられたりした時、同期生の越路吹雪さんが『うちら團結すれば恐いことなんかないわ、團結やで！』と音頭を取り可愛い炎を上げました。
- (4) これからも観せていただきたい。



葦原 邦子

- (3) 私は初舞台からどういうわけか転びます。ロケット(ラインダンス)で私が転ぶと大変。まわりの友達は皆大迷惑。それが今でも転ぶのです。
- (4) 宝塚でしか出来ない素晴らしい舞台をこれからも観せていただきたい。



月丘 夢路



新珠三千代

- (1) 親元を離れ、社会(団体生活)に足を踏み入れ、芸能界への基礎の第一歩を歩き始め夢多い少女時代を無我夢中でぶつつけました。
- (2) „ふんやん歌“初めて春日野八千代さんの相手役に抜擢されました。„かぐや姫“小夜福子さんに代つてかぐや姫に扮しました。
- (3) コーロア物語、ミーチョ姫に扮し、これが最後の舞台でした。

- (1) 戦後の日本の発展と共に、宝塚も戦前の黄金時代に劣らない隆盛期を作ったと思われる時期に私の青春時代を生きられた事は本当に幸せでした。宝塚は私にとって一生忘れられないところです。
- (2) あまり沢山で書ききれません。白井先生、高木先生、内海先生の作品に出演しておりました。それら全部の作品と主題歌です。
- (3) 当時、世界的なブリマドンナと言われた三浦環女史に、あなたが来日したリサイタルに、楽屋でシャリヤビンにキスして貢つて一番前の席で、あこがれのド

- (1) キザに聞こえるかも知れませんが、まさに『輝ける青春時代』私の人生の終る時まで、その思い出は、いつも大きな心の支えとなるでしょう。
- (2) レビュー時代の波にのった幸運な舞台生活、その10年間に一つとして嫌いなものはありませんでした。しかし特に言えば、(サルタンバング、山彦の唄) (アールの女) (憂愁夫人、ロンドンデリー) (マリオネット、クリスチーヌ) (ラ・ロマンス) (忘れじの歌、アンニーローリー)。桜ひさ子、大空ひろみ、久美京子。

- (1) 親元を離れ、社会(団体生活)に足を踏み入れ、芸能界への基礎の第一歩を歩き始め夢多い少女時代を無我夢中でぶつつけました。
- (2) „ふんやん歌“初めて春日野八千代さんの相手役に抜擢されました。„かぐや姫“小夜福子さんに代つてかぐや姫に扮しました。
- (3) コーロア物語、ミーチョ姫に扮し、これが最後の舞台でした。

ンキホーテやヴォルガの舟歌を聞いたこと。

(4) 若さこそ宝塚のシンボル。そして他の演劇界には無い、夢のある、美しい、豪華絢爛たる舞台を大切にして貰いたい。時代遅れという人もあるとは思うけど清く正しく美しくという昔ながらの宝塚のモットーは、たとえ表面にあらわれるところだけで見せてほしい。たとえ楽屋裏はどうあろうとも。このイミわかつて下さい。



加茂さくら

(1) (小学校、中学、高校) の学生時代の次の素晴らしい第二の時代だったと思います。これから第三の時代そして第四の時代の中では一番幸福な。

(2) 微笑の国、皇帝と少女、花のオランダ坂などやせて頂いて今だに忘れられません。主題歌はうるわしのファナ、南の哀愁、私は桃の花が好き etc。お相手役はその都度ステキな男役の方と組ませて頂いたので、どの方にもスマラシイ想い出が沢山あります。

(3) 宝塚の楽屋 (特に兵庫県の本拠地の方は特に厳しく) まだ小林一三先生が生きておられました頃、守衛さんに「そこのおじさん男の人は入れません」と断わられたとか聞いたこともあります。樂屋の中は、たとえ演出の

先生でもお入りになれません。ある時、皆がとても忙しく開演の準備をしているところ、誰も舞台におりていかないで、やむなく振り付けの先生が皆のいる樂屋迄上ってこられて、ダメ出しをしようとなさったら、皆が一齊に「キャー出てつ」と

か大変な騒ぎになり、その先生もその場は注意しに来たのにとすごい剣幕でお帰りになりましたが、そこはやはり女性ばかりの園、本当は生徒の方があやまらなければいけないので先生の方からお菓子の差し入れが届いて皆で頂いたことがあります。

(4) 宝塚らしいもの、宝塚だけは必ず夢がかなえられるような作品を常に演っているという印象を男の方にも女の方にもうえつけで、夢を満たしてくれるもの、それが宝塚というようになつて欲しい。宝塚の生徒さんだけは、すべて芸にせよ私生活にせよ違うなどいわれるような人ばかりになつて欲しいと思います。



扇千景

(1) 現在も女優として働く基礎を教えられ、中村扇雀という夫にめぐり逢えた私の人生の最高に重要な時代でした。

(2) 「夜霧の女」春日野八千代様のまま口ケットに出て、舞台の

真中で気がつきその場でぬいじやつたので、ダンスが済んで全員入ったあと舞台の真中に一足、スリッパが残り大失敗しました。

(4) どんなことがあっても夢の世界であつて欲しいと思います。



小夜福子

(3) 今は亡き佐保美代子と仲良し時代、寄宿舎にて、夏、ホタル狩りに出掛け、うるしの木にかぶれて顔がひどくはれ上がり、白い薬をぬつてお化けみたいになつたこと。

(4) 舞台でゲラゲラ良く笑つて久松先生に呼びつけられ叱られて樂屋の化粧台の引立しの中に顔をつつ込んでよく泣いた。

(3) 初舞台の時、あわててスリッパのまま口ケットに出て、舞台の

Sunset in Paris

黄金色の夕日は
街の並木をくぐって
まぶしく映える……
それは さながら
モンマルトルのトロゼ通り——
ドレッシーなサングラスが
あなたを華麗に演出します



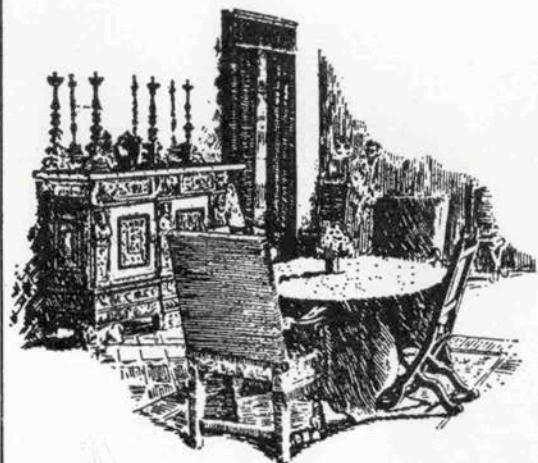
メガネの
モリカワ

大阪店・ 4F 神戸店・三宮 さんフサ 1F
TEL 06(361)7040

TEL 078(391)0383

59

欧風家具・婚礼家具



設計・創作

永田良介商店

神戸市生田区三宮町 3 丁目 大丸前 TEL 神戸(391)3737
(代表)

東京店・東急百貨店 (日本橋店内 6 階) TEL 03(211)0511
(本店(渋谷) 7 階) TEL 03(462)3180

工場 神戸市垂水区多聞町小東山 975-35
神戸木工センター TEL (078)706-5913